



令和4年6月
港区立港南中学校
校長 佐々木 希久子
“こころ”のサポーター

“こころ”のサポーターだより

皆さん、こんにちは。先日、駅のホームを歩いていたら、白杖をつきながら歩いている人がいました。その人が立ち止まったので、そちらを見ると学生が2人、おしゃべりに夢中になり、黄色い線（視覚障害者誘導用ブロック）の上にはいました。1人が白杖の方に気がつき、線の上を離れると、もう1人も離れました。その人が心配になった私は、「電車に乗りますか？」と聞くと「はい」とおっしゃるので、「どうすればいいですか？」と聞くと「腕をつかまさせてください」と言われたので腕を出し、電車が来たので「3歩くらい前に進んでください。間が開いているから大きな一歩を踏み出してください」と言いました。その後、その方は入口近くの手すりに捕まりました。様子を見ていると携帯で何かを聞いています。「これが、視覚障害者の方が携帯端末で現在地や目的地までの情報を音声で得るシステムなのか」と思いました。

道路やホームに引かれている点字ブロックは、視覚障害者の方にとっては非常に大切なものですが、その上に立ち止まったり、自転車を駐輪してある光景を見ることがあります。今回の経験で「私も気をつけなくては」と改めて思いました。随分前に、駅に向かって階段を降りていた時、私の隣を歩いていた方が階段を踏み外し、下まで落ちてしまったことがありました。「大丈夫ですか？」と声を掛けると、「まだ、慣れていないので」とおっしゃるので、「慣れていない？」とその方が言ったことを繰り返すと、「ひき逃げをされて、目が見えなくなってしまったのです」とのことでした。それから数日は、その時に感じた衝撃を忘れられませんでした。今まで目が見えていたのに、突然、見えなくなってしまうことがあるんだ、、、と。

私自身が精神科で実習をしていた時も、体中アザだらけの高齢者が弟さんに連れてこられたことがありました。その方は長年、教員をしていたが、退職してから健康診断を受けておらず、気がついた時には緑内障で視野がせばまり、視力を失ってしまったことを話してくださいました。

港南中学校の皆さんも困っている方がいらしたら、ぜひ支えてあげてくださいね。そして皆さんが困っている時は、港南中の“こころ”のサポーターにお話しをしにいらしてください☆

“こころ”のサポーターの部屋ご案内

場所：港南中学校校舎 2階（職員室後方ドアの前）
開いている曜日：火曜日・木曜日

困っていること、悩んでいることがあったら、一緒に考えていきましょう。

保護者の皆さまへ

お子さんに対する心配事や登校しぶりなどでお悩みがあれば
ご家族だけで抱え込まず、気軽にご連絡ください。

電話での相談も受け付けています（火曜日・木曜日）

★ご予約は下記に★

職員室代表電話番号：03-3471-0238（副校長、学年担当）
“こころ”のサポーター直通電話番号：03-5462-9100（火・木）
※ “こころ”のサポーター以外の者が出る場合がありますが、
ご容赦ください。すぐにお継ぎいたします。

